

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	中国語 I (4年次)
教科書	『四コマ漫画で学ぶ中国語』三宅登之監修・李軼倫著(朝日出版社)
補助教材等	辞書は4年次に購入したものを使用。
学習上の留意点	
<p>4年次に学んだ内容を土台にして、更にレベルアップを図っていくので、当然のことながら4年次に習った項目はきちんと理解しているという前提で授業を進めていくことになる。春休み中に一度、4年次で使ったテキストを復習しておく、スムーズに新しい内容に進んでいけると思う。</p> <p>週に一度の授業の時だけ教科書を開くようでは言葉の習得は難しいので、自学自習も重視して、より多くの言葉を口に出して発音し、より多くの問題をこなす事によって自力をつけていく。4年次の内容も復習しつつ授業を進めるので、地道に実力を積み上げていって欲しい。</p> <p>なお、「達成度評価」の「その他」は練習問題や発音の出来を言うので、定期試験だけでなくふだんの学ぶ姿勢も評価の対象とする。</p> <p>授業時にしっかりやっていたら問題のないレベルの出題で試験は実施するので、再試はしない。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>5年生は卒業研究や就職活動などで忙しいとは思いますが、技術者として社会に出ると、実際に中国語が必要になる場面も多いので、是非真剣に学んで欲しい。積極的に声を出し、分からない所はどんどん聞いて欲しい。</p> <p>教科書は必ず購入し、教科書やプリント類を忘れたり、授業時に中国語以外のことをやっている、と減点の対象になるので、そのつもりで受講するように。</p>	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	・第1課～第4課 ・第5課	・ピンインと声調符号が正しく読める事。 ・「是」構文、「～か？」疑問文と疑問詞疑問文、人称代名詞を正しく活用できること。	当該箇所の復習
2	・第6課 ・第7課	・形容詞述語文、動詞述語文と連動文、反復疑問文、指示代名詞、「～でしょう？」と「～しましょう」の語気助詞が正しく活用できること。	当該箇所の復習
3	・第8課 ・復習	・変化を表す「了」、「あまり～でない」の表現、「～してください」の表現が正しく活用できること。 ・第5課～第8課の項目を再確認すること。	当該箇所の復習
4	・第9課	・量詞、「この、あの」の指示代名詞、助詞「的」が正しく活用できること。	当該箇所の復習
5	・第10課	・百以上の数、値段を正しく使え、二重目的語文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
6	・第11課	・「～しないで」の表現、選択疑問文、省略疑問文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
7	・第12課 ・復習	・完了・実現の「了」、助動詞「想」「要」、所有を表す「有」を正しく活用できること。 ・第9課～第12課の項目を再確認すること。	当該箇所の復習
8	・中間考査	・中間まとめとして試験を行う。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
9	・試験返却、解答解説 ・第13課	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・助動詞「会」「能」「可以」、「～のようだ」の表現を正しく活用できること。	当該箇所の復習
10	・第14課	・場所代名詞、方位詞、存在を表す「有」と「在」を正しく活用できること。	当該箇所の復習
11	・第15課	・年月日・曜日を正しく表現し、「多少」と「几」の疑問詞、「どのくらい～？」の聞き方が正しくできること。	当該箇所の復習
12	・第16課	・結果補語を正しく活用できること。	当該箇所の復習
13	・第16課	・方向補語、動詞の重ね型を正しく活用できること。	当該箇所の復習
14	・復習	・第13課～第16課の項目を再確認すること。	当該箇所の復習
	期末考査		学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
15	・試験返却、解答解説 ・前期のまとめ	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・前期の学習事項のまとめを行う。	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	・第17課	・2つの「ちょっと」、可能補語、助動詞「～するべきだ」の表現が正しくできること。	当該箇所の復習
17	・第18課	・様態補語、動作の進行を表す「(正)在～呢」、形容詞の重ね型を正しく活用できること。	当該箇所の復習
18	・第19課	・経験を表す助詞、離合詞を正しく活用できること。	当該箇所の復習
19	・第19課	・介詞を正しく活用できること。	当該箇所の復習
20	・第20課	・時刻の言い方が正しくできること。	当該箇所の復習
21	・第20課 ・復習	・「もうすぐ～だ」の表現、状態の持続を表す「着」が正しく活用できること。 ・第17課～第20課の項目を再確認すること。	当該箇所の復習
22	・中間考査	・中間まとめとして中間考査を行う。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
23	・試験返却、解答解説 ・第21課	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・比較構文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
24	・第21課	・方法の尋ね方、動作量(時間・回数)の言い方を正しく活用できること	当該箇所の復習
25	・第22課	・程度補語、「是～的」構文、疑問詞の非疑問用法を正しく活用できること。	当該箇所の復習
26	・第23課	・存在現象文、語気助詞「啊」「呀」「哇」を正しく使えること。	当該箇所の復習
27	・第23課	・使役構文、受身文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
28	・第24課	・仮定表現、「把」構文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
29	・復習	・第21課～第24課の項目の再確認すること。	当該箇所の復習
	期末考査		学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
30	・試験返却、解答解説 ・後期のまとめ ・授業改善アンケート	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・後期の学習事項のまとめを行う。 ・授業改善アンケートを実施する。	
総学習時間数			90時間
講義			60時間
自学自習			30時間